

# 活動報告 小林かつゆきの、主な活動内容です。

# Activity

※平成30年10月～令和元年6月まで

10月1日	議会報編集委員会 磯部築クロージングイベント
3日	あんな祭りお囃子練習
4日	磯部交流会 懇親会
5日	あんな祭り前夜祭
6日	あんな祭り1日目
7日	あんな祭り2日目
9日	消防秋季点検リハーサル
10日	議会報編集委員会
13日	上毛かるた審判講習会
14日	消防秋季点検
18日	足湯清掃
20日	社協水仙コスモス鑑賞会 ユネスコ協会国際交流の集い 安小ダディーズ会議
22日	民声クラブ会派打ち合わせ
25日	鉄道遺産群を愛する会 会議
26日	民声クラブ会派打ち合わせ 育成会役員会議
27日	安中市戦没者追悼式 大人の上毛かるた大会
28日	体協ブロック対抗球技大会
29日	民声クラブ 予算要望提出
11月1日	地域医療政策セミナー
3日	まごころ文化祭
4日	碓氷峠浪漫クラブ現地見学会
5日	育成会上毛かるた練習日
6日	磯部温泉組合例会
9日	上毛かるた大会練習
10日	高寿会わくわく畑 手伝い
12日	磯部イルミネーション設置
13日	磯部イルミネーション設置2日目
16日	安中碓氷ユネスコ協会市民展 上毛かるた大会練習
18日	廃品回収 安中市医師会市民講座 高別当信和会 会議
22日	民声クラブ予算要望に対する市の回答 商工会青年部定例会
28日	安中市都市計画審議会 並木グループ協力会
29日	商工会青年部地域間交流研修会
30日	上毛かるた審判実践講習会
12月2日	旧碓氷峠鉄道施設重文追加指定記念 シンポジウム
3日	議会開会 磯部交流会忘年会
4日	温泉組合定例理事会
5日	総務文教常任委員会
6日	福祉民生常任委員会
7日	経済建設常任委員会 磯部地区忘年会
8日	安中青年会議所卒業式
9日	商工会青年部グルメリブランプリ 高別当信和会忘年会
11日	一般質問 温泉組合忘年会
12日	一般質問
13日	消防会議
14日	委員長報告・採決等 閉会
15日	高別当育成会役員選出会議
20日	足湯清掃 商工会青年部忘年会
21日	議会報編集委員会
22日	SL夜汽車に温泉マークをPR
23日	伊藤きよし県政報告会
26日	磯部第1区餅つき大会
27日	浪漫クラブ会報編集会議
28日	磯部消防歳末警戒
29日	高別当信和会歳末防犯パトロール
30日	高別当信和会歳末防犯パトロール
31日	磯部消防歳末警戒
1月3日	消防林野火災出動

4日	消防林野火災出動
6日	ろうばい祭り
7日	磯部地区新年賀詞交歓会
9日	議会報編集委員会
10日	かるた大会練習
12日	安中青年会議所新年会
13日	安中市成人式
14日	どんどん焼き
15日	かるた大会練習
16日	安中市観光機構戦略会議
17日	青年部賞賛向上研修会
18日	かるた大会練習
20日	上毛かるた大会
24日	商工会青年部定例会
27日	碓氷峠浪漫クラブ新春講演会及び新年会 久昌寺厄除け大祭
29日	磯部温泉組合総会
30日	会派打ち合わせ
2月1日	商工会青年部節分事業
2日	茂木英子後援会新春の集い
3日	上磯部自治会 契約会
3日	磯部温泉薬師 節分会
5日	温泉組合定例会
10日	安中総合学園和太鼓部定期演奏会
11日	山本一太安中後援会拡大役員会
12日	館長給食センター視察
14日	磯部温泉街イルミネーション撤去
15日	臨時議会 ユネスコ協会理事会、新年会
19日	議員立候補説明会 学校評議員会議
21日	商工会青年部定例会
23日	安小ダディーズ会議 温泉マーク発祥まつり
26日	議会開会
27日	議会、予算特別委員会設置
3月2日	秋間梅林開花祭
3日	安中ジュニアオーケストラ ひなまつりコンサート
4日	予算審査特別委員会 消防火災予防運動
5日	予算審査特別委員会 温泉組合定例会
6日	予算審査特別委員会
7日	総務文教常任委員会
8日	福祉民生常任委員会
9日	育成会役員慰労会
10日	育成会新入生歓迎歓迎会 小淵優子後援会新年会 育成会総会
11日	経済建設常任委員会
13日	安中一中卒業式 伊藤きよし事務所開き
14日	一般質問
15日	一般質問 ユネスコ理事会
16日	安中市少年少女合唱団 定期演奏会
17日	高別当信和会準備会議
18日	全員協議会
19日	委員長報告、採決等 閉会
21日	まごころ梅まつり
22日	安小卒業式
26日	議会報編集委員会 商工会青年部定例会
29日	岩井均 事務所開き
30日	安小ダディーズ事業
31日	温泉街ファンイベントの手伝い
4月1日	鉄道遺産群を愛する会 会議
3日	議会報編集委員会 社協磯部支部理事会 体育協会磯部支部正副支部長顧問会議
5日	磯部区長自治会長並びに防犯委員会総会

7日	後援会事務所開き 高別当信和会総会
9日	温泉組合定例会
10日	社協磯部支部総会
11日	商工会青年部定例会
12日	体育協会磯部支部総会
13日	社協水仙チューリップ鑑賞会
14日～20日	市議会議員選挙告示 選挙期間 市議会議員選挙投票日
21日	市議会議員選挙投票日 市議会議員二期目当選
22日	民声クラブ会派打ち合わせ
23日	磯部公園池の掃除 碓氷峠浪漫クラブ役員会
24日	安小ダディーズ会議
25日	磯部交流会通常総会 商工会青年部西部ブロック総会
令和元年	
5月2日	全員協議会
7日	温泉組合定例会
8日	全員協議会
10日	全員協議会
11日	安政遠足前夜祭
12日	安政遠足待マラソン
14日	温泉組合 HP 制作委員会
16日	消防会議
17日	臨時議会 ユネスコ協会総会
18日	自動二輪交友会令和大会式典
19日	高別当グランド清掃 碓氷峠浪漫クラブ定時総会
22日	安中市区長会総会 議会報編集委員会
23日	鉄道遺産群会議 商工会青年部定例会
24日	安小ダディーズ会議
25日	エルピスあけぼのバザー 関所保存会 講演会
26日	消防 安中市水防訓練
27日	議会報編集委員会
28日	温泉組合 HP 制作委員会
6月1日	羽生田たかし先生清水まさと君を励ます会 2日/アプトの道ウォーキング 山本一太選挙対策本部設立発起人会 高別当信和会定例会
3日	群馬行政書士会国会視察
4日	会派連絡協議会 温泉組合定例会
6日	議会運営委員会 議会報編集委員会
7日	磯部築開店セレモニー 空き家対策協議会 ユネスコ協会理事会
12日	浪漫クラブ会報編集会議
13日	議会開会 消防会議
14日	安中市商工会講演会
15日	岩井県議県政報告会
16日	高別当信和会草刈り事業 伊藤清興政報告会
17日	並木グループ懇親会
18日	福祉民生常任委員会 磯部温泉祭り自治会会議
19日	経済建設常任委員会
20日	足湯清掃及び公園草刈り 公明党時局講演会
21日	一般質問
22日	清水まさと選対発表会
24日	一般質問
25日	磯部自治会福祉会議 温泉組合 HP 制作委員会
26日	委員長報告、採決等 閉会
28日	安小ダディーズ会議

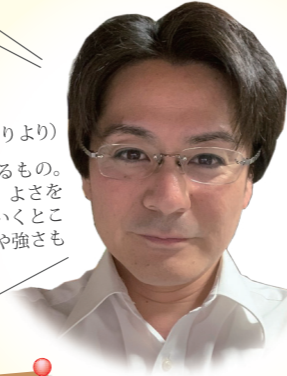
## 安中市議会議員

# 小林かつゆき 議員活動報告

飾らぬ自分が  
いちばん強い

(松下幸之助 成功日めくりより)

メッキはいつかはげるもの。  
飾らぬ自分を大切に、よさを  
伸ばす努力を重ねていくところ  
から、本当の自信や強さも  
生まれてくる。



2期目もよろしく  
お願いします！

活動期間  
平成30年10月  
令和元年6月

12月の  
定例議会

一般質問 ●学校教育の充実について ●空き家対策について

### 学校教育の充実について

#### コミュニティスクールについて

**問** 全国の学校のうち14.7%の学校がコミュニティスクールを実施しており、急激に増加している。検討すべきでは。

**答** 他市での実践を参考にしたり、モデル校を指定したりしながら、導入に向けた準備を進めてまいりたいと考えております。

**問** 少子化の影響で、市内の学校の児童数に大きな開きが出てきている。学校の再編成の取組は。

**答** 新たな審議会の設置も視野に入れながら、慎重に検討を進めてまいりたいと考えております。

#### 英語教育について

**問** 新学習指導要領への完全実施への準備に向けた現在の取り組み状況は。

**答** 今年度から、小学校3・4学年では、年間15時間から35時間に、5・6学年では、年間50時間から70時間に、授業時数が増加します。

**問** 英語検定の検定料を補助する制度の導入は？

**答** 英検は、英語力向上の有効なツールなので、予算の中で慎重に検討します。

### 空き家対策について

#### 除却費用補助制度について

**問** 倒壊寸前の危険な空き家については、市民の安全を最優先に考えれば、強引な取り壊しも必要では。

**答** 所有者の確定を進め、その結果とその他の条件を考慮し対応策を決定して参ります。

## 小林かつゆき 後援会報 vol.13・14・15

うだるような暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしですか。

このたび、統一地方選挙・安中市議会議員選挙において、無事、当選の栄冠を勝ち取ることができました。28名が立候補し、8名が落選するという厳しい選挙戦を勝ち抜くことができたのも、皆様方のご支援のたまものであり深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

選挙戦でも掲げた目標「観光振興」「教育改革」「子育て支援」「産業振興」「福祉の充実」「財政健全化」に力を入れ、地域発展の為にこれまで以上に邁進していきたいと思っております。

若者から、議員は普段なにをしているのかわからないという声を聞きます。議員の活動をお伝えすることも我々の役目だと思いますので、1期目同様、活動報告の配布やSNSを使うなどして、政治への関心を高める努力もしていきます。

2期目も、これまで以上に皆様に認めてもらえるよう地域発展のための活動をして参りますので、今後もご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

#### いじめ対策について

**問** SNSなどを使ったいじめ通報システムの導入は。

**答** 電話やインターネットを介した様々な相談機関の周知を徹底するとともに、他の先進事例の研究も進めながら、いじめの早期発見、早期対応に努めてまいりたいと考えております。

**問** スクールロイヤル制度の導入は。

**答** 学校個々の事案につきましては、必要に応じて行政課を通じて弁護士に相談しながら、解決を図ってまいりたいと考えておりますが、今後、本市としても検討しなければならない研究材料の一つであると認識しております。

**問** ラウンド制英語勉強法の導入は。

**答** 注目に値する学習指導法でありますので、今後も研究を進めてまいります。

**用語解説** ラウンド制英語教育とは  
教科書を1年間に何度も繰り返し使うことで、英語の定着を図ろうとする勉強法。熊谷市や横浜市の中学校で取り入れられている。



私たちは、小林かつゆきの活動を応援しています！

## 小林かつゆき 後援会事務所

〒379-0127 安中市磯部 1-11-41 (碓氷堂印刷内)  
TEL.027-385-8820 FAX.027-385-3527  
E-mail: tairin@peach.ocn.ne.jp

毎日更新中！

facebook 小林かつゆき 後援会事務所  
ご紹介しております。是非ご覧ください。

小林克行 安中

**経歴**

1975 (昭和50年) 安中市磯部に生まれる  
1988 (昭和63年) 磯部小学校卒業  
1991 (平成3年) 安中市立第二中学校卒業  
1994 (平成6年) 前橋育英高等学校卒業  
1999 (平成11年) 大東文化大学法学部卒業  
東京近郊にて不動産会社に就職  
2004 (平成16年) 安中市に帰郷し家業に従事する  
2005 (平成17年) (社)安中青年会議所 入会  
2012 (平成24年) (社)安中青年会議所第40代・理事長

**現在**

(公社)安中青年会議所シニアクラブ【会員】  
安中市商工会青年部【部員】  
安中碓氷ユネスコ協会【理事】  
鉄道遺産群を愛する会【事務局員】  
磯部温泉組合【理事】  
安中市消防団【第3分団第1部・団員】  
NPO法人碓氷峠浪漫倶楽部【会員】  
安中市社会福祉協議会磯部支部【理事】  
安中市体育協会磯部支部【顧問】  
高別当信和会【会員】

**家族** 妻・長男・長女の4人家族。

公立碓氷病院について

連携活動の推進について

問 地域連携室会議を行う事ことによる具体的な成果、効果は出ているのか。

答 市内紹介件数を年間550件ほどを見込んでおり、地域連携会議を開催する前の平成27年度は年間489件で約60件増加する見込みです。また、調剤薬局、在宅者の介護サービス事業所も加わり、施設の空き状況の把握や情報共有が容易になり、患者の円滑な在宅復帰が可能になりました。

情報発信の強化について

問 強みのある診療科や医師がいるのに、情報発信が乏しく認知されていない。情報発信の強化は。

答 平成29年度にホームページを見やすくスマホ対応も行い検索しやすいようにリニューアルいたしました。従来月平均1,300件程度だった検索数は、平成30年度では約6,000件と大幅に増加いたしました。その他、出前講座や病院だより「うすい」の発行などをおこなっています。

問 碓氷病院は血液内科が強いが、その点をもっと情報発信すべきでは。

答 今後も更に当院の特徴である血液内科や透析についてもPRして参ります。

患者アンケートの実施について

問 現在のアンケートでは、とても経営に参考になるとは思えない。

例えば市立島田市民病院では、2年おきに、入院と外来の患者に分けて、期間を定めてアンケートを実施しています。

年齢や診療科目、説明のわかりやすさ、対応について、質問のしやすさ、待ち時間、駐車場の分かりやすさ、職員の私語の多さなど、他にも多数項目が分かれています。

このくらい細かいアンケートの実施をすべきでは。

答 患者にご負担をおかけしない方法での実施方法を検討します。

新改革プランの見直しについて

問 資料をみると、常勤医師数が目標を大きく下回っており、抜本的な見直しが必要と明記されている。今後の動きは。

答 再編ネットワーク化や経営形態の見直しについて、新年度の早い時期に研究し、議論して参ります。

子どもの人権について

情報の共有について

問 児童相談所との情報共有はどのように行なっているのか。

答 気になる子どもについて、随時連絡や相談をさせていただいております。また、月1回、児童相談所職員と定期的な情報交換の機会を設けております。

問 教育機関や保育園などの情報共有は。

答 電話連絡だけでなく、学校を訪問するなどして直接聞き取りできるだけ詳細な状況を確認しております。

問 市外からの転入児童の情報共有は。

答 文書による送付や取受を徹底して行っております。本年度の12月までに対応した件数につきましては、転出は4件、転入が2件で、それぞれ文書により適切に情報交換を行っております。

問 関係機関が同じ情報を共有することが重要。児童相談所との情報共有に使用する「緊急アセスメントシート」を要保護児童対策協議会などでも活用すべきでは。

答 要保護児童対策協議会において、シートの活用について共有し、更に、チェック項目や表現も含めシートを使いやすくする検討もしてまいります。

専門機関の設置について

問 兵庫県川西市は、こどもの人権に特化した第三者機関を設置している。設置の検討は。

答 子どもの相談受付機関として、「チャイルドラインぐんま」、「24時間子供SOSダイヤル」、「子ども教育・子育て相談」などの周知を図っておりますが、更に、子どもの人権に係る機関の設置についても検討していきます。

教育機関の対応について

問 千葉県野田市の事件によって、スクールロイヤー制度の必要性がメディアでも取り上げられている。検討すべきでは。

答 必要に応じて行政課を通じて弁護士に相談しながら、対応して参ります。

問 千葉県野田市の事件では、子どものアンケートを教育委員会が保護者に見せてしまったという対応がとて非難されている。見解は。

答 誠に遺憾であり、児童相談所と連携をしながら毅然とした対応をしていきます。

少子高齢化対策について

交通弱者対策について

問 買物支援について、最近は民間による配達サービス等の取り組みが進んでいる。広報などに載せて市民に周知してはどうか。

答 今後の検討課題とします。

問 京都市京丹後市ではアメリカの配車サービス「ウーバーテクノロジーズ」のアプリを活用した取り組みをしている。検証すべきでは。

答 運賃の支払が自動引き落としで、ドライバーも空いた時間を有効的に活用できる仕組みです。日本では「白タク」は禁止されていますが、この地区は「公共交通空白地有償運送制度」を活用しています。先進事例を参照しながら、公共交通の利便性向上に努めてまいります。

用語解説 公共交通空白地有償運送制度とは

バスやタクシーなどの公共交通が十分でない地域で、NPO法人や社会福祉協議会が地域住民に提供する運送サービス。地域の住民などが講習を受けて運転手になり、料金を得て客を運ぶことができます。

問 現在高齢者に配布しているタクシー券だけでなくバス利用券も選択できるようにすべきでは。

答 バスの利用に関しては、割引率の高い敬老割引バスカード・回数券があります。

問 免許証自主返納者に、シルバーカーやアシスト自転車購入の補助制度を創設してはどうか。

答 今後県下の状況を見ながら有効性や課題について研究します。

問 車を運転できない高齢者の中にはゴミ出しに苦労している人もいます。対策は。

答 訪問介護において、ホームヘルパーがゴミをゴミステーションに搬出するという生活援助がございます。また、ゴミ出し支援を含めた生活支援を進めている地区もございます。

問 地域に郵便ポストが近くに無くて不便という市民の声を最近よく聞きます。日本郵便に働きかけたり、ちいき生活応援隊の制度を活用するなど、対策を考えるべきでは。

答 ちいき生活応援隊の生活支援活動の中で、必要時の郵便ポストへの投函についての支援を地域によっては検討しております。

学校教育の充実について

中学校の改革について

問 東京の麹町中学校の改革が非常に参考になると思うが見解は。

答 学校経営上教育効果が期待できる取組であれば、学校と協議し、検討します。

トピック 麹町中学校の改革について

公立中学校にもかかわらず、大胆な改革の取り組みに成功し、全国から注目されています。主な取組として、「服装頭髪等の指導をしない」「宿題の廃止」「中間・期末テストの全廃」「固定担任制の廃止」などがあります。

スクールバスについて

問 子どもが減り、通学距離の遠く、下校時1人である時間が長い児童がいて、危険だしとても不安という保護者の声を聞いた。県内他市の利用条件はどうか。また、安中市のスクールバスの利用条件を通学距離を2km以上とするなどの緩和措置をすべきでは。

答 高崎市では、民間の路線バスを利用し、学校までの距離が2km以上ある児童に定期券代を全額補助しています。藤岡市では、特定の地区の児童に対して、スクールバスを運行しています。富岡市では、通学距離が3.5km以上ある児童に対して、スクールバスを運行しています。教育委員会として、運行範囲の拡大につきましては、今後検討します。

問 下校時に不安のある児童に対しては、現在運行しているデマンドタクシーの利用を許可してはどうか。

答 児童生徒につきましても、一般の方と同様に乗合タクシーをご利用いただくことは可能です。運賃につきましては半額となります。

空き家の利活用について

問 芸術家などに、空き家を利用して一定期間移住してもらうような事業を検討しては。

答 行政として何が出来るかを整理しながら研究していきます。

